

## 津久井支援学校防災教育の概要

文部科学省による「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」の最終報告（H24年7月）では、災害発生時に、自ら危険を予測し、回避するための「主体的に行動する態度」を育成し、支援者となる視点から安全で安心な社会づくりに貢献する「共助・公助」の精神を育成する防災教育の重要性を示している。

特別支援学校においても、児童生徒の障害の状態、発達段階、特性及び地域の実態に応じて、危険な場所や状況を予測・回避をすることや、必要な場合に援助を求めることができるように、防災教育を進めていくことが求められている。

### 【本校の防災教育】

・危険な状況を知り、自ら命を守ろうとする。 (自助)		・自他の命や人権を大切にする。 (共助・公助)
① 主体的な行動	② 防災についての興味関心	① 自分の持っている力で、人の役に立とうとすること

### 【本校の防災教育の主な指導内容】

実践的態度を育てる活動	知識、理解を深める活動	支援者としての視点を持つ活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェイクアウト訓練</li> <li>・避難訓練</li> <li>・防災宿泊学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DIGを活用して周辺地域理解を深める</li> <li>・応急処置の学習</li> <li>・ハザードマップの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険防止（助けを求める学習）</li> <li>・困っている人へのお手伝い</li> <li>・集団生活での役割やきまりの学習</li> </ul>

### 【学校・家庭・近隣地域における防災教育イメージ】

(自助・共助・公助を育てるために)

